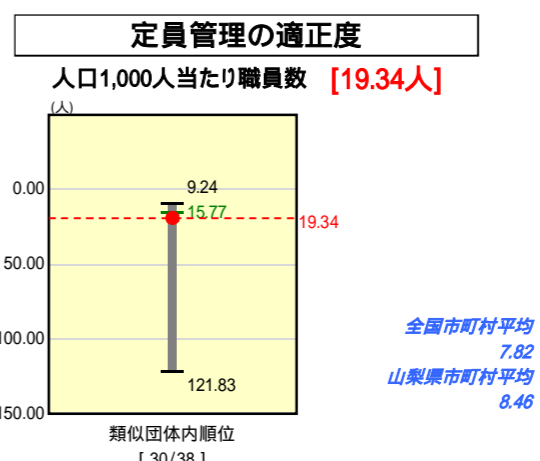
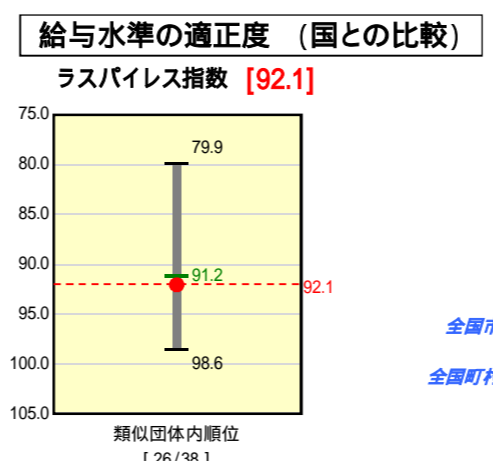
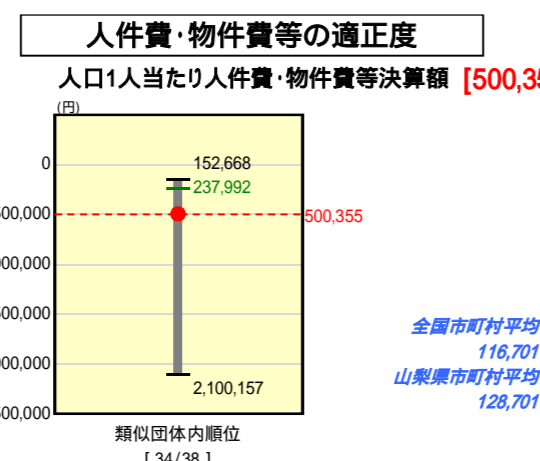
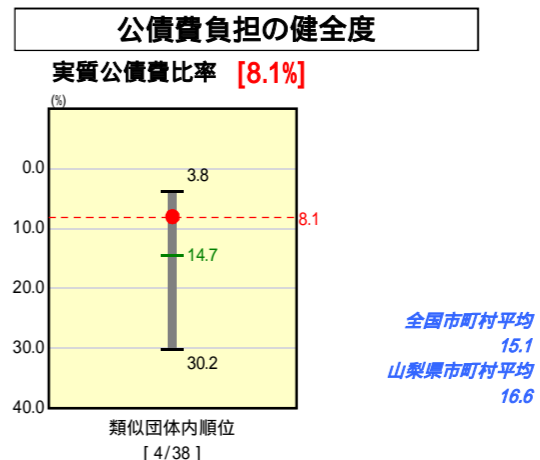
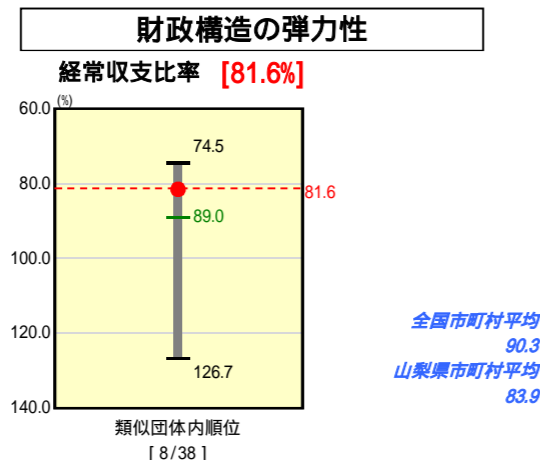
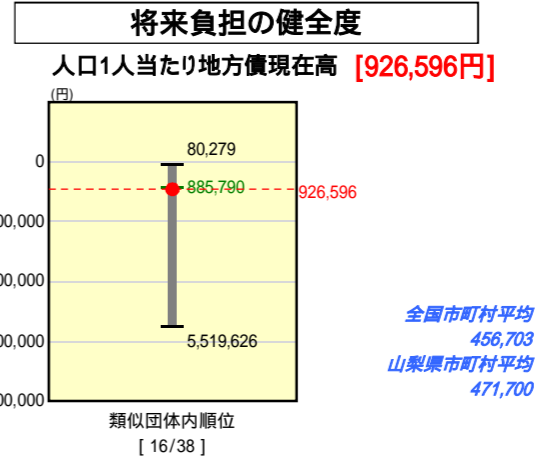
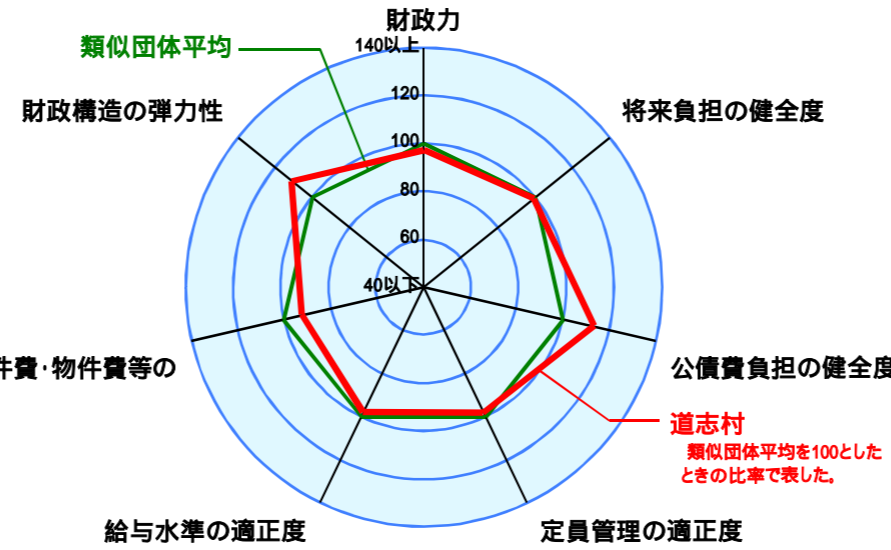
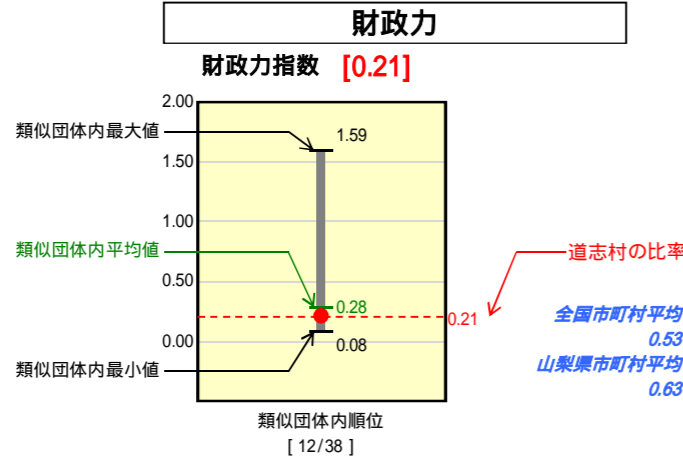


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

山梨県 道志村

人口	2,068 人(H19.3.31現在)
面積	79.57 km ²
歳入総額	2,162,330 千円
歳出総額	2,058,028 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】：人口の減少や高齢化に加え、村内に中心となる産業が無いこと等により、財政基盤が弱く類似団体平均を下回っている。今後も更なる行財政改革を行うとともに、「道志村総合計画」に沿った施策の重点化に努め、活力ある村づくりを展開し、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】：経常経費の抑制により類似団体平均を下回っているが、今後も「集中改革プラン」に掲げた行財政改革を行い、経常経費の削減に努め70%台の維持を目指す。

【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】：観光事業等特別会計の人件費・物件費が390,000千円含まれているため類似団体平均を大きく上回っている。今後は人件費、需用費等の削減を行い類似団体平均に近づけるよう努力する。

【人口1,000人当たり職員数】：定員モデルを参考に定員数で行政運営を行ってきたが、類似団体平均を上回っている。平成17年度に作成した「集中改革プラン」により、平成21年度までの5年間で定年退職、早期退職による人員の削減と新規採用の抑制により11.5%の削減に努めている。

【将来負担の健全度】：類似団体平均を若干上回っているが、前年度と比べると減少している。今後も新規地方債の発行の抑制等により類似団体平均の水準になるよう努める。

【実質公債費比率】：過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回る8.1%となっている。今後も有利債の活用と緊急性・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に頼ることのない財政運営に努める。

【給与水準の適正度】：の適正化に努める。